

3月親父サッカープロジェクト委員会議事録 No2

2021年3月27日

参加者に前回の会議事録を回覧して見てもらい、確認してもらった。その結果として、全チームへ各種行事の希望をアンケート調査するため、調査票を作成したものを参加者に配布して内容を検討していただき会議を始めた。

参加者からの意見は下記の通り。

- ・冒頭にフレンドマッチだけでも早めに開催できないか？
- ・地元自治会では、秋以降のワクチン接種が前提で町内会の集まりを計画している現状であり、従ってその頃の感染状況によりゲームも有りか？
- ・練習やフレンドマッチは個人の責任でやってもらえれば、どうか？
- ・親父サッカーからコロナ感染が出て容認する前提があれば良いが。又年間計画は作成しておいても良く、状況により変更することにすれば良いのでは。
- ・練習会と称してフレンドマッチをスタートできないか？勿論各人の責任においてで、体温を計測して安全を確かめてからの練習会であるが。
- ・小中学校のグラウンドを使うことがフレンドでは難しいが、練習会ならば、個人でなら良いではないか。親父サッカーの名は出ないから。
- ・佐藤では昨年グラウンドをまったく使わず、今年も使わないと今後は使えない。浜松市のコロナ感染予防の指針は緩く、使用者責任でやってもらえればと。
- ・今年から日曜日の夜のナイターには大人は使えないとの通達が出ている状況
- ・あくまでも親父サッカーは遊びの延長であるから、やらなくてもいいのでは？
- ・個人では参加している者もあるようだが、傷害保険が掛けていないので困る。しかしながら、誘いがあれば個人として参加すること認めたい。
- ・フレンドをやるなら2週間空けて、又ワクチンを打ってからも2週間空ける。
- ・グラウンド確保はできるが、チームメンバーが集まらずチームの結束が弱くなる
- ・グラウンドを持っていないから、何もできないがフレンドができればうれしい。
- ・このままでは、今日の会議も前回の会議と同様に何も決まらず、決められない
- ・せつかくアンケート調査の用紙を準備したのだからまず全チームの意見集約をして、その集計結果の多数決により方向性を決めて行くことにすれば。
- ・但し、集計結果が全てでは無くプロジェクト委員会で最後は決めることとなる。
- ・浜松市の感染レベルがステージ1になれば何も問題なく試合もできると思う。
- ・まずはアンケート調査の集計した結果により、方向性を決めて行きたい。
- ・アンケート調査票と共に会計監査報告書(2019年、2020年)を併せて送付する
- ・アンケート調査票の締め日は4月17日(土)までとし、可美代表 島迄送付下さい。
- ・次回プロジェクトは4月24日(土)に開催します。